

○各取組項目におけるスケジュール(天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会) 平成28年度～令和2年度

具体的な取組の柱	事項	実施期間	実施する機関						平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度				平成30年度 取組状況		備考欄	緊急行動計画
			倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	倉吉河内	第一 四半期 4～6月	第二 四半期 7～9月	第三 四半期 10～12月	第四 四半期 1～3月	第一 四半期 4～6月	第二 四半期 7～9月	第三 四半期 10～12月	第四 四半期 1～3月	第一 四半期 4～6月	第二 四半期 7～9月	第三 四半期 10～12月	第四 四半期 1～3月	第一 四半期 4～6月	第二 四半期 7～9月	第三 四半期 10～12月	第四 四半期 1～3月	第一 四半期 4～6月	第二 四半期 7～9月	第三 四半期 10～12月	第四 四半期 1～3月	取組の現状、課題	今後の予定		
			○	○	○	○	○	○																								
	協議会開催	毎年出水期前	○	○	○	○	○	○	○	7月12日開催	10月7日開催	5月17日開催	2月8日開催	5月14日開催	12月25日開催	5月23日開催																
	幹事会開催	毎年4月2月	○	○	○	○	○	○	○	7月21日 8月18日	3月28日	4月27日	3月23日	4月23日	3月14日																	
1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確な避難行動のための取組																																
1-1 洪水を安全に流すためのハード対策の推進																																
	1-1-1 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施 天神川 牧地区(パイピング対策、流下能力対策)の実施	R2									設計				用地調査																	
	国府川 米積(パイピング対策、流下能力対策)の実施	R2										施工		施工		施工																
	小鴨川 中流部(流下能力対策)の実施	R2								施工		施工		掘削等について、整備計画に基づき継続して実施																		
1-2 危機管理型ハード対策の推進																																
	1-2-1 堤防天端の保護を目的とした舗装の実施	H28								現地施工		対策完了																				
1-3 避難行動に資する基盤等の整備																																
	1-3-1 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計の整備	順次実施												危険箇所の把握		設置計画作成		20基施工		情報提供												
	1-3-2 避難の目安となる目標物等のリアルタイム映像(河川監視用カメラ)の提供設備の整備	順次実施												整備方針の検討						監視カメラの整備												
	1-3-3 浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	順次実施	●	●	●	●	●	●	●					施設浸水深情報の提供																		
	1-3-4 想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づく行政機関の災害対策本部や災害拠点病院等の機能確保対策(耐水化、非常用電源等)の検討	H28～検討実施	●	●	●	●	●	●	●					倉吉河川国道事務所機能確保対策の検討																		
	1-3-5 避難場所・避難所の確保及び関係防災施設の整備についての検討・調査	H28～検討実施	●	●	●	●	●	○	○					中部総合事務所防災対策機能強化整備																		

赤:市町の取組、緑:県の取組、青:国の取組、橙:市町・県・国が協力して実施する取組、紫:県・国が協力して実施する取組、桃:市町・国が協力して実施する取組
塗りつぶし:実施済みの項目、斜線:予定の項目(未実施)

○各取組項目におけるスケジュール(天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会) 平成28年度～令和2年度

具体的な取組の柱	事項	実施期間	実施する機関				平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度				平成30年度 取組状況	備考欄	緊急行動計画							
			倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	倉吉河内	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	取組の現状・課題	今後の予定										
1-6	市長・町長に対し助言を行う者の育成及び派遣																																			
1-6-1	市長・町長に対し助言を行う者の育成及び派遣	H28～定期的に実施	○	○	○	○									6/7第1回勉強会(8名参加)					勉強会					勉強会				勉強会		勉強会					
1-6-2	河川防災担当職員等を対象とした研修の実施		○	○	○	○									洪水ハザードマップの周知に関する説明会(6名参加)																					
1-6-3	災害対応の初動対応から復旧に至るまで総合的にマネジメントできる人材育成のために、研修・訓練等へ参加(市町職員の水害リスク学習会)	H28～定期的に実施	○	○	○	○																														
1-7	防災教育(学習)や防災知識の普及																																			
1-7-1	教育関係者等と連携して指導計画の作成支援及び地域の特性に合わせた教材等の作成	H28年～順次実施	○	○	○	○																														
1-7-2	天神川水系の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充のために、指導計画を関連市町における全ての学校に共有	継続実施	●	●	●	●																														
1-7-3	自主防災組織(自治会等)を対象とした防災知識の普及及び防災マップの作成支援の拡充	継続実施	●	●	●	●																														
1-7-4	学校教育関係者向け研修や講座等の開催及び講師等の派遣	H29～定期的に実施	○	○	○	○																														
1-7-5	河川防災に関わる市町の防災担当者向けの説明会の開催	H28～順次実施	○	○	○	○																														
1-8	避難を促す状況情報の提供																																			
1-8-1	「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知	H28～H29出水期まで																																		
1-8-2	避難の目安となる目録物やリアルタイム映像の配信・共有	H28～順次実施																																		
1-8-3	自主防災組織(自治会等)への情報提供の現状と課題把握を踏まえた災害時の情報収集方法等の周知	H28～順次実施	●	●	●	●																														
1-8-4	スマートフォン等によるプッシュ型の洪水情報発信	H29	●																																	

赤:市町の取組、緑:県の取組、青:国の取組、橙:市町・県・国が協力して実施する取組、紫:県・国が協力して実施する取組、桃:市町・国が協力して実施する取組
塗りつぶし:実施済みの項目、斜線:予定の項目(未実施)

○各取組項目におけるスケジュール(天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会) 平成28年度～令和2年度

具体的な取組の柱	事項	実施期間	実施する機関					平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度				平成30年度 取組状況		備考欄	緊急進行計画
			倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	倉吉河川	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	取組の現状、課題		
2. 急流河川の地域特性に応じた効率的・効果的な水防活動																															
2-1水防活動に資する基礎等の整備																															
2-1-1 河川のリアルタイム映像(河川監視用カメラ)の配信、共有(行政向け)																															
2-2水防活動の効率化及び水防体制の強化																															
2-2-1 水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討																															
2-2-2 洪水に対しリスクが高い区間(重要水防箇所等)について、水防団や自主防災組織(自治会)が参加した合同点検																															
2-2-3 水防技術講習会、関係機関や住民等が連携した実践的な総合水防訓練																															
2-2-4 備蓄水防資機材の情報の共有、非常時の相互支援方法の確認																															
2-2-5 大規模な氾濫に対してより広域的、効果的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整																															
2-2-6 災害発生時に被災状況やTEQ-FORCE等による支援活動を情報提供し、地方公共団体間の相互支援を促し、災害対応力の向上を図る																															
3. 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水活動等の取組																															
3-1排水計画の作成及び排水訓練の実施																															
3-1-1 排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画の作成																															
3-1-2 排水計画に基づく排水訓練の実施																															
3-2排水活動に資する施設等の整備																															
3-2-1 効果的・効率的な排水施設、釜場等の(施設)整備																															
3-2-2 各施設管理者において施設の増強や耐水化等の対策の実施																															
3-2-3 フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施																															

●:取組計画書の作成機関

R1.5.23現在

赤:市町の取組、緑:県の取組、青:国の取組、橙:市町・県・国が協力して実施する取組、紫:県・国が協力して実施する取組、桃:市町・国が協力して実施する取組

塗りつぶし:実施済みの項目、斜線:予定の項目(未実施)